

# Libra | on

vol.25

りぶらいおん

<http://www.libra-sc.jp>

- 特集：① りぶらまつり 2012 報告  
② 大蔵流狂言「りぶら狂言教室・鑑賞会」



- 「じてんしゃ図書館」  
土居一洋さんインタビュー
- 近隣のお店紹介  
三州菓子工房「中田屋」
  - 私の一冊 vol.19
  - りぶら生涯学習情報
  - りぶら中央図書館情報
- りぶらサポーター紹介 長坂進



# りぶらまつり 2012 レポート



## おいでん♪行こまい!りぶら★

11月の17日(土)・18日(日)。第4回目となる「りぶらまつり」が開催されました。「りぶらから誘う!りぶらへ誘う!新しい学びや興味のきっかけを提供!にぎわいと文化啓発を融合させよう!新たな情報発信と知識創造の場づくりを!」の意味を込めて、今年のテーマは「おいでん♪行こ

まい!りぶら★」でした。りぶらのテーマである市民の交流と生涯学習へのきっかけ作りの場となるように、さまざまな企画が展開され、多くの市民が楽しい2日間を過ごしました。

幕開けは、Beanzzの楽しく賑やかな演奏。そして、内田新市長の挨拶と林実行委員長の開会宣言で2日間のりぶらまつりが始まりました。館内の会議室やホールはもちろん、お堀通りを含む全館で、りぶらで活動する市民団体や様々な分野の実行委員が工夫を凝らした企画を展開しました。

初日の雨と2日目の強風のために、プロムナードやストリート広場では、予定していた企画の場所移動などもありましたが、スタンプラリーでりぶらをくまなく回っていただけだと思います。フィナーレはホールを使って、2日間で撮影されたまつりの写真をバックに、迫力のある和太鼓の演奏で締めくくられました。





## これまでも、これからも

「りぶらまつり」も4回目の開催となり、個々の団体活動を超えてつながりあい、りぶらでの学びを作り活かす持続的なおまつりとして定着してきました。運営面ではまだまだ課題がありますが、少しずつ進化もしています。参加団体の皆様にとっても、来館者の皆様にとっても、「りぶらまつり」は2日間で終わるものではなく、そこで新しいつながりができ、何かが生まれることを期待する「はじまり」の場でもあります。今回の実績と皆さんの思いを大切に、次回につなげていきたいと思っています。

次年度も、6月の説明会から「りぶらまつり2013」の準備が始まります。企画の段階から運営面でのサポーターを募集しています。興味と関心のある方は、りぶらサポータークラブの事務局に、ぜひ声をかけてください!!

## 【りぶらまつり2012の記録】

来館者数	12日	7,799人
	13日	7,239人
	合計	15,038人
実行委員団体数		40
プログラム数		52
実行委員参加スタッフ数		400人
ボランティア数		23人
ストリート広場出店者数		7店
おみくじ(スタンプラリー参加者)		739人
景品寄贈		170点
りぶらグッズ		569点
ねぶたパレード協力	ガールスカウト	12団 & ボランティア準備会参加者数
		① 30人② 29人③ 30人④ 33人⑤ 50人

【りぶらまつり2012の記憶(アルバム)】はホームページで <http://www.libra-sc.jp>





## 大蔵流狂言

# 「りぶら狂言教室・狂言鑑賞会」実施決定!!

りぶらサポータークラブでは、平成25年3月31日（日）に、大蔵流狂言「りぶら狂言教室・狂言鑑賞会」を開催することとなりました。そこで、開催に先立ち、狂言の解説と今回の演目「附子（ぶす）」と「盆山（ぼんさん）」のあらすじを紹介します。



### 狂言について

能と狂言を総称して「能楽」といいます。能の多くは古典文学を題材とし、貴族的社会を描いています。

これに対して、狂言は庶民の目線で現実の社会を描いているところに特徴があり、多種多様なおかしさが散りばめられている、リアルでクールな喜劇です。

### 狂言の歴史

奈良時代に中国から渡来した「散楽（さんかく）」が、平安時代にはいと滑稽さを強めると同時に、「散」の音が「サル」に近かったため、「猿楽（さるかく）」と呼ばれるようになり、鎌倉時代には、悲劇的な歌舞劇である「能」に対して、猿楽本来の笑いの要素がせりふ劇となり、「狂言」が生まれます。

そうして、能との組み合わせによって発展し、中世庶民の間に滑稽・物真似の笑いをまき散らし、冗談や洒落を本位とすることにより、笑いの度合いを次第に高め、洗練された芸能になりました。

室町時代の後期に、大蔵流・和泉流・鷺（さぎ）流が成立します。幕府直属に大蔵流・鷺流、尾張徳川藩と宮中に和泉流が勤め、江戸の混乱期を経て鷺流は廃絶しました。その後、大正・昭和と時代の荒波をくぐりぬけ、現在は大蔵流、和泉流の二流が活動しています。

### 狂言を観る

狂言の笑いは、実にほのぼのとしています。それは、ごく普通の人々が、ひたすら生きている様を描写しているからです。ほんの少しの皮肉やささいな行き違いや間の悪さなど、日常には笑いが満ちています。狂言は、そんな笑いを少しだけ切り取って、劇にして演じているのです。

日時：平成25年3月31日（日）

18:30～20:00（18:00開場）

会場：りぶらホール

プログラム：

狂言笑学校 能舞台の秘密 狂言独特の演出  
竹内寛（たけうちゆたか）

狂言観賞

「附子」 茂山良暢（しげやまよしのぶ）  
新島健人（にいじまけん）  
増田建（ますだたけし）

「盆山」 大蔵基誠（おおくらもととなり）  
竹内寛（たけうちゆたか）

後見・働き 杉本久（すぎもとひさし）

笑いま専科 狂言の所作と台詞の体験

大蔵基誠・茂山良暢

当日の参加者有志の協力を得て

鑑賞料：前売 1,500円（平成25年2月発売予定）

当日 1,800円（予定）

能舞台には装置がありません。扇や葛(かずら)桶(おけ)といった、わずかな小道具はありますが、いずれも汎用性のある使われ方をしています。装束(しょうぞく)は決まっていますが、これも役柄をおおまかに区別している程度です。つまり狂言には、説明的なものが一切ないのです。台詞と仕草を手がかりに、観たまま思うままに、想像の世界を広げて下さい。

### 「附子」のあらすじ

主(あるじ)は、「附子という猛毒が入っている桶には近づくな」と言い置いて外出します。留守番を言い付けた太郎冠者と次郎冠者だが、附子のことが気になって仕方がありません。

とうとう太郎冠者は、桶の中身を覗いてみることにします。するとどうであろう、毒であるはずの附子が、大変おいしそうに見えるではないか。誘惑に負けて、太郎冠者が附子をなめてみると、毒というのは全くの嘘で、主人が附子だと言った物の正体は砂糖でした。二人は奪い合うようにして砂糖を食べつくしてしまいました。主人が嘘までついて隠しておいた砂糖を食べてしまった言い訳として、二人が選択した行動とは…。

まず、主人が大切にしている茶碗と掛け軸をめっちゃめちゃに壊します。見るも無惨になったところで、二人で大泣き。すると、帰ってきた主人が、泣いている二人と、破れた掛け軸、壊れた茶碗を発見し、二人に事情を聞きました。そこで二人は、「掛け軸と茶碗を壊してしまったため、死んで詫びようと毒を飲んだが死ねず、困っています」と言い訳し、主人は途方に暮れる…。

### 「盆山」のあらすじ

近頃、世間では盆山(盆の上のにのせた箱庭のようなもの)が流行っている。ある男が盆山を欲しがり、知人に頼むのだが譲ってくれない。そこで、ある日知人の家に忍び込み盆山を選んでいると、持ち主が気づいてやってきます。男はあわてて盆山の陰に隠れますが、持ち主はすぐに見破ります。

しばらく盗人をからかってやろうと、あれは犬だ、猿だなどと言って物真似をさせ、最後には物真似できないものまで言います。さて、男はどう切り抜けるのか…。

## 片岡則夫氏の 「情報大航海術」で 「狂言」について 調べてみよう！

自分のテーマに取り組みながら、図書館の資料や情報を有効に使い、調べ方やまとめ方を学びます。

- 《目的》① テーマの探求  
② 調べるプロセスを楽しむ  
③ 調べ学習をしながら、  
図書館の活用方法を探る  
④ 自分の設定した限界を超える

- 《目標》① レポートにまとめる  
② テーマについての  
パスファインダーを作る  
③ 新たなテーマを見つける

## 「狂言」調べる学習会 2月17日(日) 3月17日(日) 10:00～12:00 グループ室1(予定)

3/31以降も開催を予定しています。

まとめ集作成(10月末)まで参加できる方、ぜひご参加下さい(参加費無料)。

問合せ：りぶら市民活動センター内

りぶらサポータークラブ事務局 0564-23-3114

りぶら狂言教室実行委員会 担当：杉浦

「狂言」調べる学習会 担当：戸松



# 1月・2月 りぶら生涯学習ガイド

催しの予定は変更になることがあります。詳細は主催者へお問い合わせください。

日時	イベント名	料金	問合せ先
1月6日(日) 14:00～16:00	ワールドレクチャー(ドイツ)	無料	りぶら国際交流センター 23-3148
1月6日(日)	りぶら講座 No.18～No.21	一覧表参照	りぶらサポータークラブ 23-3114
1月6日(日) 10:00～12:00	りぶら いきものみつけ隊	無料	りぶらサポータークラブ 23-3114
1月10・17・24日 (木)14:00～16:00	ことばの教室(中国語) 初心者向け	無料	りぶら国際交流センター 23-3148
1月10日(木)	りぶら講座 No.22～No.24	一覧表参照	りぶらサポータークラブ 23-3114
1/11・2/1・3/1 (金) 18:30～	外国人講師が英語で外国を紹介 「マンスリーイングリッシュ・サロン」	1500円 (3回分)	成瀬陽子 090-1826-1149
1月12日(土)	りぶら講座 No.25～No.28	一覧表参照	りぶらサポータークラブ 23-3114
1月13日(日) 11:00～13:00	ワールドクッキング(日本料理)	無料	りぶら国際交流センター 23-3148
1月13日(日) 14:00～16:00	講演会「世界のお茶文化を語る」	無料	中央図書館 23-3111
1月14日(月)	りぶら講座 No.29	無料	りぶらサポータークラブ 23-3114
1月15日(火) 14:00～16:00	生涯学習はじめましてサロン	無料	りぶらサポータークラブ 23-3114
1月17日(木)	りぶら講座 No.30・No.31	一覧表参照	りぶらサポータークラブ 23-3114
1月19日(土) 16:00～	渡辺香津美ジャズ講座	2000円	図書館交流プラザ 23-3100
1月19日(土) 13:30～16:00	行政書士による市民生活無料相談会	無料	愛知県行政書士会岡崎支部 0564-65-5838
1月20日(日) 11:00～13:00	親子で作ろう! 中国八宝まんじゅう!	小学生親子 1組 500円	りぶら国際交流センター 23-3148
1月24日(木)	りぶら講座 No.32～No.34	一覧表参照	りぶらサポータークラブ 23-3114
1月26日(土) 10:00～12:00	男女共同参画講座 「ママの『働く』暮らし塾」	60人(抽選)	文化活動推進課 0564-23-6222
1月27日(日) 14:00～16:00	カルチャーサロン(ボクササイズ)	無料	りぶら国際交流センター 23-3148
1月31日(木) 13:30～15:00	緑化推進講演会「緑の癒やし効果」	30人(抽選)	公園緑地課 0564-23-6717
2月2日(土)	りぶら講座 No.35～No.38	一覧表参照	りぶらサポータークラブ 23-3114
2月2日(土) 10:00～12:00	体験講座 「家族団らん 団茶を飲もう!」	無料	中央図書館 23-3111
2月3日(日)	りぶら講座 No.39～No.42	一覧表参照	りぶらサポータークラブ 23-3114



日時	イベント名	料金	問合せ先
2月3・10・24日(日) 10:00～12:00	新米コック・おとこの料理教室	3,500円 (6回分)	文化活動推進課 電話 23-6222
2月3日(日) 予 13:00、決 15:00	外国人が日本語の歌を歌う のど自慢大会	無料	りぶらサポータークラブ 23-3114
2月3日(日) 14:00～16:00	ワールドレクチャー (タイ)	無料	市民生活部市民協働推進課 23-3148
2月7・14・21日(木) 14:00～16:00	ことばの教室 (フランス語) 初心者向け	無料	りぶら国際交流センター 23-3148
2月7日(木)	りぶら講座 No.43～No.47	一覧表参照	りぶらサポータークラブ 23-3114
2月9日(土)	りぶら講座 No.48・No.49	無料	りぶらサポータークラブ 23-3114
2月10日(日) 10:00～12:00	りぶら いきものみつけ隊	初回のみ 500円	りぶらサポータークラブ 23-3114
2月10日(日)	りぶら講座 No.50	一覧表参照	りぶらサポータークラブ 23-3114
2月12日(火)	りぶら講座 No.51	無料	りぶらサポータークラブ 23-3114
2月14日(木)	りぶら講座 No.52・No.53	無料	りぶらサポータークラブ 23-3114
2月16日(土) 9:30～12:00	行政書士による市民生活無料相談会	無料	文化活動推進課 0564-23-3110
2月16日(土)	りぶら講座 No.54・No.55	一覧表参照	りぶらサポータークラブ 23-3114
2月17日(日)	りぶら講座 No.56	一覧表参照	りぶらサポータークラブ 23-3114
2月17日(日) 13:30～15:30	創業・経営支援セミナー 高収益を実現するインターネットを使った 販路拡大の3つの秘策	無料	中央図書館 23-3111
2月19日(火) 14:00～16:00	生涯学習シンクタンク	無料	りぶらサポータークラブ 23-3114
2月19日(火)	りぶら講座 No.57～No.63	一覧表参照	りぶらサポータークラブ 23-3114
2月21日(木) ① 10:30、② 14:00	シネマ・ド・りぶら上映会 『4分間のピアニスト』	無料	りぶらサポータークラブ 23-3114
2月21日(木)	りぶら講座 No.64	無料	りぶらサポータークラブ 23-3114
2月24日(日) 14:00～16:00	カルチャーサロン (華道)	無料	りぶら国際交流センター 23-3148
2月24日(日)	りぶら講座 No.65～No.67	無料	りぶらサポータークラブ 23-3114
2月26日(火) 10:00～12:00	ココロが楽になる コミュニケーション上達講座	無料	文化活動推進課 23-6222



## りぶら中央図書館情報

### 図書館システムがリニューアルしました。

平成 25 年 1 月 4 日から図書館システムが新しくなりました。

web からの安全性強化のため、専門の技術者が 24 時間 365 日監視している民間のデータセンターに、ホームページと webOPAC を構築し、直接外部から図書館システムにアクセスできない仕組みを取り入れました（個人情報はデータセンターには保持していません）。

また、全文検索エンジンを採用したシステムで検索のヒット率を高めており、利用される方からの要望が多くありましたグーグルのような、スペース区切りでの検索もできるようになります。

### レファレンス事例集

岡崎市立中央図書館でこれまでに受けた資料相談事例を紹介します。

年始には親戚中が集まることも多いと思いますが、親族の呼び名についてのレファレンスです。

質 問	親族の呼び名の一覧が載っている本はあるか。百科事典を見たが分からなかった。
回 答	『平凡社大百科事典』P984「親族名称」に掲載されているが古い為読み方が現在と異なる。『体系・戸籍用語事典』の附録 P39「血族六親等図」があったが読み方はなし。家系図関連の図書で何点か掲載あり。インターネットにも「親族表」としていくつか掲載あり。
キーワード	親族、親族表、家系図
参考資料	①『平凡社大百科事典』288.2 へ（参考）／平凡社 1985 年 ②『体系・戸籍用語事典』324.8 タ（参考）／高妻 新／著・日本加除出版 2001 年 ③『戸籍を読み解いて家系図をつくろう』288.2 コ／清水 潔／著・日本法令・2009 年 45 P 掲載 ④『いまこそ家系図を作ろう』288.2 イ／岩本 卓也・八木大造／著・エイ出版社 2010 年 20-23 P 掲載
クイズ	①曾孫（ひまご＝孫の子）の子ども呼び名は？またその子ども呼び名は？ ②曾祖父（そうそふ＝祖父の親）の父親呼び名は？ ③祖父の兄弟の孫は？ ④甥（おい）の息子は？

#### 【クイズの答え】

①玄孫（やしご）、来孫（らいそん）②高祖父（こうそふ）③再従兄弟（はとこ）④又甥（またおい）または、姪孫（てっそん）



## りぶら映像アーカイブス

「りぶら映像アーカイブス」は、この1月から、りぶら館内の3箇所（1階レファレンスライブラリー、岡崎むかし館、及び2階お城通り）で、自由に見られるようになりました。年代別にアーカイブ化された岡崎に関する貴重なニュース・番組映像を視聴できます。

「おかざき再発見！！

おかざき今昔～寒中水泳～」

放送年：平成9年(1997年)



毎年、成人の日に乙川で開催されている「寒中水泳大会」。昭和24年に始まり、当初は学校対抗で水中パフォーマンスを競ったりしていました。昭和30年代に撮影された映像からは、河川敷に集まった大勢の人々が、冬の風物詩を見物する楽しい様子が伝わってきます。河川の汚れが原因で中止を余儀なくされた時期もありましたが、岡崎水泳協会の呼びかけで復活し、今年で38回目を迎えます。

こどもから高齢者まで、毎年約100人近くが新年の抱負を言葉にしたあと、水温約5度の水に飛び込み、岸から岸まで約70メートルを泳ぎ切ります。この日にふさわしく、新成人のフレッシュな姿も見られます。



## 私の一冊 vol.19

### 『博士の愛した数式』



早川 喜晴 (はやかわ よしはる)

大学、大学院と数学の追っかけをしていました。その他、音楽活動、運動・食べ物系など、仲間を見つけさえすれば、すぐ「〇〇クラブ」などと銘打ち、日々活動（遊び？）に励んでいました。

今はりぶらで、生涯学習から市民活動まで、市民の皆さんの活動支援の仕事をしています。学生の時からの野望「学びたいときに、学びたいことを、学びたいところで学びたい」の実現に、少しでも近づけるよう頑張ります。

2006年に映画化された作品。ストーリーは、皆さんに読んでいただくとして、この話にどっぷり浸かっていただくには、「おとなの」数学の見方を身につけたうえで読むことをお勧めします。

「おとなの見方」といっても、難しいことではありません。学生のころのいわゆる「勉強」ではなく、数学的な現象をじっくり見つめ、その現象の美しさ、潔さに、ただただ想いを巡らすだけのことです。視覚的に感じるとでもいいたいでしょうか。だから決して、「なぜそうなるの?」などとは考えないでください。それは、数学科の学生や数学者の仕事です。

この話で登場する「オイラーの等式  $e^{i\pi} + 1 = 0$ 」を例に挙げますと、「 $e$ 」はネイピア数：2.718281…、「 $i$ 」は虚数単位： $i \times i = -1$ となる空想上の数、「 $\pi$ 」は円周率：3.141592…です。それぞれ単独では何とも収まりがつかない数たちですが、それらが「うまく重なる」



小川洋子：著 新潮社

ことで、見事に簡単に収まってしまうのです。これを小説的に言うならば、「出所も性格も全く違う、普通なら会うこともない3人。そんな彼らが出会い、奇跡は起こった……」。

実際これらの数式たちが、この話をとても感動的に表現しています。この本には他にも、素数・完全数・友愛数など、数の不思議な関係が登場しています。ストーリーを楽しむとともに、「おとなの見方」で、それらの不思議さも楽しんでみてはいかがでしょうか？

# 岡崎から「じてんしゃ図書館」で日本一周 土居一洋さんにインタビュー

11月10日(土)、リぶらに、水車トレーラーを連結させた自転車に乗って「じてんしゃ図書館」の土居一洋さんがやってきました。土居さんは、平成17年1月14日に岡崎を出発して、静岡から関東そして北海道から沖縄も周り、7年10ヶ月をかけて日本一周して岡崎に帰って来たのです。

## 「じてんしゃ図書館」って？

平成16年3月、仕事帰りに寄った本屋さんで『百年の愚行』という本に出会いました。環境破壊や戦争など、人類が20世紀に行なった数々の「愚行」を、100枚の写真とエッセイで綴った本です。「21世紀もまた同じ世紀にするのか？ 本当に大切なことにまだ気付けないのか？」そんなメッセージを全身で受けとめ、その日は夕食すら食べられませんでした。数日後、店にあったその本を3冊買い、2冊を友達に「とにかく読んで」と渡し、1冊は自分の手元に置いて毎日ページをめくりました。



僕のまわりの人はその本を知らず、近くの図書館にも置いてありませんでした。図書館の司書の方に話をすると、こちらの気持ちを受け止めてくださり、図書館で取り寄せてくれました。1ヵ月後に調べてもらうと、3人の方が借りていました。これはチャンスだと思いました。この本を1人でも多くの人に読んでもらうことで、地球上で起こっていることを自分自身の問題と捉える人が増えるのではないかと。そうすれば、少しでもいい方に変わるのではないかと。

そして平成17年1月、自転車で愛知県の自宅を飛び出しました。全国3千箇所の図書館をまわり、その本を置いてもらうようお願いする旅を始めたのです。ところが、旅は思い通りにはいきませんでした。話さえ聞いてもらえない図書館も少なくありませんでした。さんざん悩んだ末に、ひとつの答えを見つけました。——自分が図書館になればいいんだ。そうすれば置きたい本を並べることができる。こうして、自転車に連結させたトレーラーに手製の本棚を取り付け、「じてんしゃ図書館」を始めました。



## どうして水車なの？

最初は茅ヶ崎の自転車屋さんにリヤカーを譲ってもらいベビーカー型の図書館を作りましたが、途中で事故に遭い大破。次のリヤカーの形で悩んでいる時、環境問題を解決する方法のひとつとして、古くからの伝統や文化を大切にすることがあると気づき、日本の伝統の象徴として水車を本棚としました。

自転車の後ろに水車を取り付けて、その水車に本をいっぱい積んであります。そして全国の公立図書館を回って『百年の愚行』という本を置いてくださいというお願いをしています。ま

た、途中で出会った人に本を貸し出しています。

「じてんしゃ図書館」には、子どもにもわかりやすく書かれた環境問題関連の本を置いています。1人1冊で返却は不要。読み終わったら誰かにまわしてもらうというシステムです。そのかわり、読み終わったあと、最後のページに描かれた「木」のイラストに「葉っぱ」を1枚描いて、次の人に渡してもらうようお願いしています。



## 生活は？

基本的には河原・公園などでハンモックの上にフライシートをかけての野宿です。旅の先々でアルバイトをして、そのほとんどを書籍代に充て、全てにおいて自給自足で補いました。当初の食費は一日300円とかなり質素でしたが、環境問題の基本としてこんな生活でいいのかと見直し、地産地消の食事を心がけるようになりました。

## 全国の図書館の反応は？

図書館にはアポ無しでお願いにいきます。最初はなかなか話を聞いてもらえませんでした。新聞やテレビ等で取り上げられてからは話を聞いてもらえる環境ができ、ずいぶん話を聞いてもらえるようになりました。図書館によって方針や予算が違っているので、本を置いてもらうことが難しい場合もありましたが、中には、僕の話に涙を流しながら聞いてくださる図書館の方もみえました。

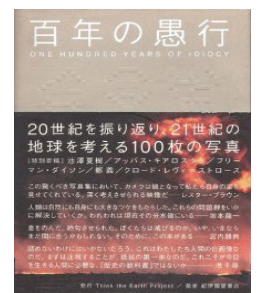
## 今後やっていきたいことは？

今後の計画の第一段階で、エコ検定の受験をします。自分なりに高くないハードルを用意したつもりです。第二ステップは校正の勉強をする予定で、最終的には法律を学びたいと思っています。そして、「じてんしゃ図書館」で経験した旅を、本にして出版したいと思っています。しかし、ただ出版するのではなく、自分で出版社を作りたいと思っています。

環境問題を取り上げて今まで活動してきましたが、本に使う紙の製紙工程は環境にとっても悪いのです。紙を変えたい、日本の草木を使って印刷・出版がしたい、日本の伝統産業を守って行きたい、紙の素材・手触り・味わいを大切にしたい和綴じ本のような本を作っていければと思っています。

## 『百年の愚行』

Think the Earth プロジェクト 209.7  
内容：20世紀を振り返り、21世紀の地球を考える100枚の写真。池沢夏樹、アッバス・キアロスタミ、フリーマン・ダイソン、鄭義、クロード・レヴィ＝ストロースの、前世紀を振り返り、新しい世紀を見据えたエッセイもある。

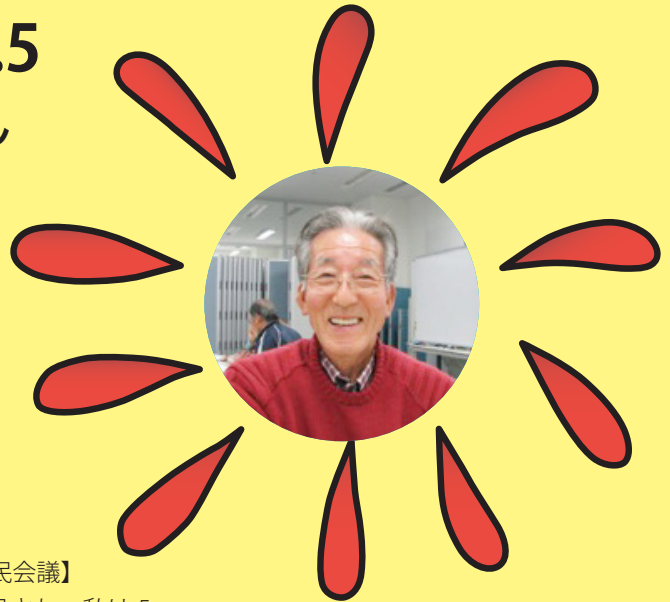


# りぶらサポーター紹介 vol.5

## りぶらサポータークラブ運営委員 長坂 進さん

りぶらサポータークラブの運営委員を、順次紹介しています。

第5回目は、運営委員の長坂進さんです。LSCの活動だけではなく、他の市民活動団体でも活躍されています。岡崎生まれの岡崎育ち。岡崎を住みよい街にしたい、少しでも役に立てればと、様々な活動をしています。



### LSCに参加したきっかけは？

本が好きなので、旧図書館をよく利用していました。そこで代表の山田さんと戸松さんと知り合いになり、新しくりぶらができる一年前の準備会に誘われて参加したことがきっかけです。

### LSCでは主にどんな活動を？

運営委員として、「シネマ・ド・りぶら」「生涯学習シンクタンク」「外国人のど自慢大会」「はじめましてサロン」などのサポートをしています。

### LSC以外のボランティア活動は？

#### 【岡崎市地球温暖化防止隊】

7年前の退職後、世の中のためになる自分に合ったボランティア活動を探していた時に、市政だよりに掲載していた「岡崎市地球温暖化防止隊」の結成・ボランティア募集の案内を見て、結成以来のメンバーとして活動しています。

この活動は、将来世代の子どもたちのために健康な地球を守っていこう、という目的のもとに、小中学校などへの出前講座、市等のイベントの参加、親子農園・エコ体験、「りぶら講座」を開催しています。今年度は岡崎市との共催で、「めざせ！CO2削減～選んで、実践して、エコチャンス～岡崎版エコポイント制度」をスタートさせました。私のような個人会員ばかりではなく、法人賛助会員の団体・企業が65を超えています。このような賛助会員の協力のおかげで、色々な活動をすることができます。たくさんさんの活動がありますが、とてもやりがいのある活動になっています。

#### 【岡崎市環境まちづくり市民会議】

この会議は7年前に発足され、私は5年前から参加しています。目的は、市民・事業者・市が一体となり、環境にやさしいライフスタイルを確立し、良好な環境を将来に継承することです。

会議は、自然・ライフスタイル・交通の三部会に分かれています。遊休農地再利用のための「お見合い大作戦」、「フォトアートコンテスト」「低炭素な食と農プロジェクト」「岡崎市民餅つきまつり～地元のおもちを食べて温暖化を止めよう」などの企画・実施をします。また、「岡崎サイクリング大会」や市内の名所旧跡を歩くイベントも実施しています。

### 今後LSCで進めていきたいことは？

りぶらを利用されている、時間のある自分と同じような年齢の方にも、LSCの活動やいろいろなボランティアに関心を持ってもらい、一緒に活動していければと思っています。

### ボランティア以外に関心のあることは？

コーヒーが好きなので、喫茶店巡りをしています。岡崎市内では1,000軒、豊田市内655軒、両市外県外2,246軒の計3,901軒の喫茶店に行きました。全ての店名・住所を記録してランク付けをしています。最上位のAAランクのゆったりした時間の流れるコーヒーの美味しいお店は、残念ながらほとんど閉店してきています。時代の流れなのでしょうが…。

今、一番のおすすめのお店は、石神町の「AGAPE cafe」です。目の前が公園で、

# Libra i on

とてもよい雰囲気でおいしいコーヒーが飲めます。1人で行く事が多い喫茶店巡りですが、このお店は、家内を連れてまた行きたいと思えるお店でした。

本を読むことも好きなので、今歴代の芥川賞の作品を遡って読み返して、1993年まで読んでいます。ここまで読んだ中でのお薦めは、金原ひとみの『蛇にピアス』です。ぜひ、読んでみてください。

### プライベートデータ

#### 【趣味・得意なこと】

社交ダンス・喫茶店巡り・麻雀（2ヶ月に一度、20～28名位で大会をしています。大会の記録もずっとつけています）。

#### 【宝物】

やはり家族ですね。妻と二人暮らしで、息子が千葉、娘は安城に住んでいます。毎朝2人で東公園へ行って、ラジオ体操をしています。この時に2人で会話ができてとてもよい時間になっています。

#### 【好きな食べ物】

奥さん手作りのビーフシチュー

#### 【自慢できるところ】

几帳面な所（いろいろなところで記録をつけ、資料を作っている）。

## りぶら近辺のお店紹介

## 三州菓子工房「中田屋」

## 「ありがとう、かりんとう」

黒地に白抜き文字で、「ありがとう かりんとう」と書かれた看板を目にしたことはありませんか？すでに、岡崎の名物と言って過言ではない「中田屋」のかりんとうの直売店が、りぶらから北へ徒歩数分、バス通りより1本西側の通り沿いにあります。



創業大正11年の老舗「中田屋」は、現在の社長伊與田晃浩さんと3代目となります。かりんとうに特化した製造業を営んでいますが、2007年、工場の一角で始めた小売が口コミで評判となり、2010年10月に現在のように改装されました。あくまでも製造業、というこだわりのため、商品が並ぶ店舗部分は、小さなスペースではありますが、できたてのかりんとうが所狭しと並んでいます。

## できたてのかりんとうをどうぞ

平日10時から12時の時間限定ではありますが、工場直売のメリットで、できたばかりのかりんとうを量り売りで購入することができます。店頭には、地元八丁味噌を使ったものや、豊田産大豆を利用した地産地消のものなど、定番の12種類のかりんとうが常時並んでいます。また、定番以外の、その日限定のかりんとうを買うことができるのも直売店の魅力です。



長年かりんとうの製造を一筋に手がけてきた「中田屋」のこだわりは、甘さがおさえられた軽やかな食感で、つつい伸ばした手がとまらなくなる美味しさです。子どものおやつに最適だけでなく、最近では、ビジネスマンが土産として買い求める姿も多いため。さらにはお中元、お歳暮などに選ばれる方も増えているそうです。



## 「ありがとう」の美味しさ

「ありがとう かりんとう」というキャッチフレーズは、すべてのお客様、あるいは、かりんとうの材料を提供してくれる方々、製造や販売にかかわるスタッフに対しての感謝の気持ちが込められています。真心のこもったお菓子作りを心掛ける社長の想いが伝わってくるようです。かりんとうを口にしたあとにも、そんな「ありがとう」の気持ちがこぼれるような、素朴で温かみのある美味しさを、みなさんも、どうぞ味わってみてください。

## 私のスタイル

りぶらで本を借りたあと、「中田屋」さんまで少し歩いて身体を温め、香ばしい香りの漂う店内でお好みのかりんとうを選びます。家に着いたら、かりんとうを菓子器に移し、腰をおろして本を開きます。いつもの読書タイムにもう一つのお楽しみが加わります。



## 「三州菓子工房 中田屋」

- 住所 岡崎市能見通1-44 (駐車場有り)
- TEL/FAX 0564-21-3507
- ホームページ <http://www.nakataya.org/>
- 営業時間 10:00～16:00 (土・日・祝日定休)

